

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で8ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その2)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)

1	●	○	△	□	◇	▽	◇
---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

奈良時代後半には、称徳天皇の信任を得て皇位を望む [1] のような僧まで出現し、仏教が政治に深く介入して混乱を招いた。そこで桓武天皇は、仏教界の腐敗を取り締まり、学業や修行を積んだ僧を育成し登用しようとした。こうした中で頭角を現したのが最澄である。最澄は、遣唐使に従って入唐し、帰国後、法華經の信仰に基づく天台宗をひらいた。最澄と同時に唐に渡った空海は密教を習得し、高野山に [2] をたてて真言宗をはじめ、(ア)から平安京に東寺を賜った。天台宗も最澄の後、円仁・円珍が相次いで入唐して本格的に密教を取り入れ、密教は加持祈祷による現世利益を求める貴族に信仰された。また、天台・真言宗はともに山中を修行の場とし、 [3] と呼ばれる山岳信仰とも結びついた。

平安後期には不安な世相を背景に末法思想が流行し、浄土教がひろまった。浄土教は(イ)を信仰し、極楽浄土への往生を願う教えである。10世紀に市聖と呼ばれた [4] が布教し、また、天台宗の源信が(ウ)を著して念仏往生の教えを説くと、浄土教は庶民から貴族まで広く信仰を集め、平安末期には地方にもひろまった。^⑥

鎌倉時代に入ると、旧仏教の腐敗を批判する新たな動きが活発になり、念仏・題目・禅などによって救われると説く新仏教の教えは武士や庶民にも広がっていった。^⑦その中で、室町時代前期に幕府と結びついてもっとも中心的な勢力となったのが [5] 宗で、 [6] は、後醍醐天皇追悼のために建立した(エ)の開山となるなど、五山派の勢力を確立する基礎を築いた。しかし、幕府の衰退とともに五山派の勢力も衰え、かわって林下が地方武士・民衆の支持を受けて各地に広がっていった。^⑧また、浄土真宗では蓮如以降(オ)が急速に勢力を伸ばし、門徒農民・国人・坊主らが一揆を形成し、(カ)国では約100年にわたって一国を自治支配するなど大きな力をもった。

(問1の解答は、解答用紙その1を用いなさい)

問1 ~ に入る語句を漢字で記しなさい。

(問2から問12までの解答は、解答用紙その2を用いなさい)

問2 (ア)に該当する天皇を次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 光仁天皇 ② 聖武天皇 ③ 嵯峨天皇 ④ 清和天皇

問3 (イ)に入る尊名としてもっともふさわしいものを次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 釈迦如来 ② 阿弥陀如来 ③ 観音菩薩 ④ 地藏菩薩

問4 (ウ)に入る書名を次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 『日本往生極楽記』 ② 『拾遺往生伝』
③ 『往生要集』 ④ 『続本朝往生伝』

問5 (エ)にあてはまる寺院を次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 大覚寺 ② 相国寺 ③ 天竜寺 ④ 西芳寺

問6 (オ)にあてはまる一派の名称を次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 専修寺派 ② 本願寺派 ③ 豊山派 ④ 本山派

問7 (カ)に入る国名を次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 加賀 ② 山城 ③ 三河 ④ 播磨

問8 下線部③について、円珍一門が拠点とした寺を次の①~④から選んでマークしなさい。

- ① 醍醐寺 ② 妙法院 ③ 園城寺 ④ 三千院

Ⅱ 次の(1)～(3)の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。解答用紙その2を用いること。

(1) 中国・明の国際的な港湾都市であった で1523年、博多商人と結託した大内氏と、堺商人と結んだ細川氏とのそれぞれが派遣した使節が、互いに貿易の主導権をめぐる争い事件が起こった。そのため明とわが国との貿易は一時的な中断を余儀なくされたが、やがて大内氏がこの貿易を独占することとなる。

この港湾都市は、古く遣唐使の時代以来、わが国の使節が向かった入港地として知られ、この地を通じて大陸の文物が日本に伝えられた。美術の新しいスタイルが導入されたことも多く、しばしば大陸風の新様式が生み出された。その室町時代の例として雪舟の場合がある。雪舟は室町時代の代表的な画僧で、備中(現在の岡山県)に生まれ、若くして京都に行き、相国寺の春林周藤について禅を、また絵画を に学んだという。その後、1467年に大内氏の遣明使節に便乗してこの港湾都市に渡り、杭州や北京にもおもむいて絵を描いたと伝えられる。そして1469年に帰国し、山口から豊後・豊前などをへて1478年には山口に戻り、その地で有名な国宝「山水長巻」などを描いている。その後、1501年には丹後を訪れ、実景図として著名な国宝の「」を描くなど、各地を旅して名作の数々を遺した。

(2) 16世紀に入ると、茶の湯は堺の富裕な商人たちの楽しみとなり、しばしば茶会が催されるようになった。 は武具の材料や皮革を商った堺の豪商で、歌学者三条西実隆について連歌を学び、やがて茶の湯に転じた。彼は、 の提唱した茶の湯のかたちをいっそう推し進め、木や竹の生地を生かした簡素な道具を用いたり、隠者の住まいを想わせる草庵を建て、「市中の山居」を理想とする独特の空間を創出したという。

この に師事して茶の湯を大成した人物が千利休である。彼も堺の人で、若くして茶の湯を学び、24歳頃に剃髪して宗易と号した。その後、織田信長との親交を深め、次の豊臣政権下では諸大名と秀吉との仲介の役割を果

たすにいたった。没後5年目に桃山時代の著名な画家 によって描かれた「千利休図」は、かれの生前の面影をよく伝えている。

- (3) 新井白石は近世日本を代表する儒学者、政治家として知られる人物である。1657年に江戸に生まれ、1686年に の門流である木下順庵のもとに入門し、1693年には順庵の推薦で甲府徳川家の藩主・徳川綱豊の侍講となる。そして、1709年に綱豊が将軍となって以降、側用人の とともに6代・7代[Ⓢ]の両将軍を補佐して幕政改革につとめた。彼が実行した改革としては、5代将軍の時代に出された、生類憐みの令を廃止し、朝廷との関係を改善して外交上の将軍の地位を明確にするなどのことがある。また、経済政策では勘定奉行の を弾劾・免職して1714年に 金銀を発行し、粗悪化した貨幣の品質を元にもどして物価の安定をはかった。さらに庶民にたいする裁判を公正にして、儒学の理想を政治のうえで実現しようとしたこともよく知られている。

問 1 下線部①の事件を一般に何と呼ぶか。次の①～④から選び、マークしなさい。

- ① 寧波の乱 ② 明徳の乱 ③ 三浦の乱 ④ 嘉吉の乱

問 2 下線部②の貿易を一般に何と呼ぶか。次の①～④から選び、マークしなさい。

- ① 日朝貿易 ② 勘合貿易
③ 日宋貿易 ④ 朱印船貿易

問 3 下線部③の大内氏は誰の代か。次の①～④から選び、マークしなさい。

- ① 大内政弘 ② 大内義弘 ③ 大内教弘 ④ 大内義隆

問 4 下線部㊸のような茶の湯のかたちを一般に何と呼ぶか。次の①～④から
選び、マークしなさい。

- ① 鬪茶 ② 普茶 ③ 団茶 ④ 侘茶

問 5 下線部㊹の将軍名を、次の①～④から選び、マークしなさい。

- ① 徳川家綱 ② 徳川家斉 ③ 徳川家宣 ④ 徳川家継

問 6 ～ にはいる適当な語句を次の①～㊵から選び、
マークしなさい。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| ① 明 兆 | ② 天橋立図 | ③ 宗 祇 |
| ④ 間部詮房 | ⑤ 明 暦 | ⑥ 正 徳 |
| ⑦ 千宗旦 | ⑧ 秋冬山水図 | ⑨ 村田珠光 |
| ⑩ 林羅山 | ⑪ 周 文 | ⑫ 釜 山 |
| ⑬ 荻原重秀 | ⑭ 上 海 | ⑮ 田沼意次 |
| ⑯ 柳沢吉保 | ⑰ 狩野永徳 | ⑱ 元 禄 |
| ⑲ 狩野探幽 | ⑳ 武野紹鷗 | ㉑ 藤原惺窩 |
| ㉒ 絶海中津 | ㉓ 寧 波 | ㉔ 荻生徂徠 |
| ㉕ 長谷川等伯 | | |

Ⅲ 次の(1), (2)の文章を読み, 以下の設問に答えなさい。解答用紙その1を用いること。

(1) 日本の近代化は工業化, 産業の高度化とエネルギー転換が並行して進められる過程であった。両者は相互に影響しあい, 経済, 文化, 社会を変革していった。明治維新以後, 殖産興業政策の下, 欧米の技術が移植され, 近代工業が生まれた。その中でも政府が重視したのが鉄鋼業であった。北九州に官営の が設立され, 日露戦争の時期になると生産が軌道に乗るようになった。製鉄所建設地として同地が選ばれた理由の一つには, 近傍に有力な炭田地帯^①があったことがある。日本はこの他にも北海道などに豊富な炭田があり, 工業化を支えることになった。これとともに比較的早期に試みられたのが電力開発であった。日本で最初の電力会社である 会社が設立され, 送電が開始された。その後日本の地形を利用した水力発電所が普及し, 次第に長距離送電も行われるようになって, 中小工場の電動機利用, 都市近郊電気鉄道会社の設立につながっていった。さらに1915年に完成した によって遠距離大量送電時代を迎え, 日本の電力化は飛躍的に進むことになった。

(2) 重化学工業化の進展とともにエネルギーの転換が進み, 石油文明時代の到来を告げることになった。国内産油量が少なかったことから, 石油輸入は日本の重化学工業化にとって重要な問題となった。このことも一つの理由となり, 日本は太平洋戦争に突入していくことになる。敗戦により, 日本経済は大きな打撃を被った。経済危機を打開するため, 石炭や電力, 鉄鋼などの重要産業部門に資金を集中的に配分することを決定,^② 政府の金融機関である を設立し, 電力や海運などの基幹産業への融資をおこなった。エネルギー産業から始まった生産再開によって, 日本の経済復興は急速に進み, 1950年代後半からは高度経済成長の時代に入っていった。この間日本の重化学工業化が進展し, 石炭から石油への「エネルギー革命」が進められ, 石炭に対する需要が減少, 鉱山経営は厳しくなっていった。経営合理化を打ち出した会社と労働組合との衝突が繰り返され,^③ 1960年労使が全面的に激突する大争議が起き, 労働

組合側が敗北した。この頃から石炭業は本格的に斜陽化していくことになった。これに代わって、石油輸入を起点とした複合的重化学工業工場群が太平洋沿岸を中心に建設されるようになっていった。戦後にはまた化石燃料から原子力へのエネルギー転換が進んだが、アメリカのスリーマイル島原発事故、ソ連の 原発事故につづき、日本でも1995年福井県の高速増殖炉もんじゅの事故、1999年茨城県の の臨界事故によりその安全性が問われることになった。

問 1 ～ に入る適当な語句を を除き漢字で記しなさい。

問 2 下線部①に該当する炭田地帯の名称を漢字2文字で記しなさい。

問 3 下線部②に該当する生産再開方式を何と呼んだか漢字で記しなさい。

問 4 下線部③の争議が起きた炭鉱の名称を漢字4文字で記しなさい。

問 5 下線部④のような工場群を何と呼ぶか記しなさい。

